

会議報告書

会議名	平成26年度 第1回三郷市介護保険運営協議会
日 時	平成26年5月26日(月) 午後1時から午後3時まで
場 所	健康福社会館 2階 視聴覚室
出席者 (20名)	【会 長】 長友 祐三 【委 員】 神波 誠、尾上朝子、晝間 章、大場 敏明、森 幸枝、青木 成夫、 (9名) 宍戸 六郎、藤竿 千恵美、田中 良夫 【事務局】 森 好弘(福祉部長)、道言 薫(副部長兼ふくし総合支援課長) (10名) 大石 京子(参事兼長寿いきがい課長) 森 泰子(ふくし総合相談室副参事兼室長兼地域包括係長) 稲舂 克巳(ふくし総合相談室主幹兼総合相談係長) 三浦 直美(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長) 長濱 崇二(長寿いきがい課長補佐兼介護給付係長) 吉田 正英(介護認定係長)高瀬京子(介護給付係主査)
傍聴人	なし
次 第	別紙次第のとおり
資 料	別紙資料一覧のとおり

●議事結果／確認事項

<議 題>

① 諮問内容の概要及び第6期計画策定のスケジュールについて

⇒ 原案のとおり了承

●報告事項・その他(連絡・確認事項)

- ・事業計画策定に関しての市民アンケート調査の結果報告
- ・地域密着型サービス事業所の指定について
- ・平成25年度介護予防事業の実施報告
- ・本日の報酬の振込日について
- ・次回の開催予定について

【会議要旨】

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 部長あいさつ

4. 諮問

5. 職員紹介

6. 議事（議事進行：長友会長）

①諮問内容の概要及び第6期計画策定スケジュールについて

事務局から「資料1, 1-1」をもとに説明する。

⇒原案のとおり承認

【質問・意見等】

（意見）資料1の計画策定の趣旨・目的のなかで、急速に高齢化が進むことが想定されている三郷市であるが、事態は、もっと深刻化している。ある意味世界一の急速な進展が、現実となっていることを強く認識する必要がある。また、認知症患者の急増も見逃ごせない。現実な問題としては、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の急増によりデイサービスの現場で混乱が起きている。これらの現状から三郷市は一つの転換期となっている。計画にあたっては、ニーズ（高齢者の要求）とデマンド（地域の状況から必要なこと、課題）を調査・分析し適切な計画策定をするよう強く望む。

（意見）有料老人ホームについて、三郷市に認可権はないが、調査権はあるので、正しい方向に指導すべきだ。

（質問）三郷市では、ここ5・6年の間で有料老人ホームは何件進出したのか。

⇒市内6か所です。今後新たな計画が2か所あります。

（意見）高齢者人口だけを合わせたかたちで区割りした圏域でこのままで計画を立てていいのか。都市計画も進み人の住み方も変わってきている中で、圏域そのものの見直しが必要である。

（意見）三郷市の第6期の計画は、地域の実情に合った計画、生活圏域ごとの課題を分析し、包括担当・ケアマネージャー・団体等の現場の声を組み上げていくべきだ。

（質問）資料1の5の計画スケジュールに基づけば5月6月7月が実績の把握、課題の検討とあるがどんな手法で進めていくのか。

⇒現場での担当者レベルでの議論はしております。地域の声をどのような形で吸い上げるか、作業レベルではございますが、進めております。具体的な手法をお示しできる時期については検討をして参ります。

(意見)運営委員会で出た意見をベースに、再度担当レベルで議論していただき、次回の会議で手法について提案していただきたい。

(意見)追加の意見として、認知症施策のことを、何らかの形で第6期計画に反映させていきたい。ネットワーク会議での議論を踏まえて提言していきたい。在宅医療の課題として、医療・介護・福祉・地域の連携、ネットワークづくりが重要である。

(意見)認知症、在宅医療、連携等のキーワードを基に計画の中に練りこみながら、計画を進めていきましょう。

7. 報告

- 地域密着型サービス事業所の指定について
- 平成25年度介護予防事業の実施報告

8. 連絡事項